

地域密着型金融の取組事例について

タイトル 復興商談会の開催

JA名 JAバンク宮城（宮城県）

1 動機 (経緯)	東日本大震災により甚大な被害を受けた農林水産業の一刻も早い復旧復興を目指して、平成23年4月に創設した「復興支援プログラム」を活用しながら全力的かつ多面的な支援の一環として、復興商談会を開催いたしました。 当商談会は農林中央金庫仙台支店、JA全農みやぎ、JFみやぎが連携し、また宮城県、仙台市からも後援をいただき、系統主催の商談会としては県内初の取組みとして実施しました。
2 概要	開催日・場所 平成24年2月9日(木) 宮城県仙台市「ウェスティンホテル仙台」 参加団体 (セラー団体) 宮城県内JA、農業法人、全農子会社、JFみやぎ、水産加工会社など計27団体 (バイヤー企業) 首都圏および仙台圏の流通・小売業者、仙台圏の食品製造業、ホテル・飲食業者など計47団体 工夫 セラー団体・バイヤー企業の双方に対して、事前にニーズを確認し、予約制の商談の場を設けることで、当日には具体的な商談が実現し、成約件数増加に繋がりました。 第一次産品の出展が多いため、ウェスティンホテル仙台の調理により、ビュッフェ形式での試食会を実施し、第一次産品を調理方法とセットでPRしました。
3 成果 (効果)	商談実績(商談会開催3ヶ月後:平成24年5月25日時点) 商談件数 : 252件 うち成約案件 : 36件 商談継続案件 : 29件 ご参加いただいたセラー団体のアンケートでは「新たな顧客基盤ができてよかった」等の意見があり、ご満足していただきました。そして商談会の模様は、計4局のニュース番組で取り上げられるなどJAグループとしての復興への取組みを全国に発信する良い機会となりました。 また商談会開催まで、数ヶ月の準備期間を要しましたが、その間にJAの信用部門と営農部門が今まで以上に連携を強化することができたことも成果のひとつであったと認識しています。
4 今後の予定(課題)	引き続き、JAグループが一体となって地場産品の販路開拓・拡大に取り組むことで、農林水産業はじめ地域産業の一日も早い復興につなげていきたいと思っております。